

1000 t ノッチタンクから 3号タービン建屋への移送ホースからの漏えいにおける問題点と対策

問題点	対策	対策の実施状況	マネジメント上の展開
汚染水移送時に担当者レベルの判断で漏えい確認不要範囲を設定したこと。	<ul style="list-style-type: none"> 汚染水移送時の漏えい確認ルールを明確に定め、例外の運用を行う際には部長の判断とする。 なお、上位職が例外的措置の可否を判断する材料として、耐圧ホース運用管理ガイドに過去に発生した漏えい事象を添付し、ガイドを制定した根拠、経緯を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 耐圧ホース運用管理ガイドに反映・制定し、運用開始。 	<ul style="list-style-type: none"> トラブル対策等の重要な事項を要領・ガイドに制定する際には、記載事項に対して例外的運用を認めるかどうかの判断を担当者レベルで行うことがないよう、<u>例外的措置をとる際の判断者（上位職）を明確にする。</u> 過去のトラブル事象の原因や対策を組織として共有できるよう、今後廃炉知識や知見をナレッジ化する。
工事の干渉により PE 管化工事を担当者レベルの判断で中断したこと。	<ul style="list-style-type: none"> 1000 t ノッチタンクからの移送配管 PE 管への取替工事について工程を作成し、担当者～GM 間で進捗状況について情報を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> 耐圧ホース運用管理ガイドに反映・制定し、運用開始。 一旦 PE 管への取替が完了。現在他工事との干渉により一旦切断し、その後リルート工事迄完了。現在、通水試験待ち。 1000 t ノッチタンクからの移送は現在禁止しており、部長、GM を含め関係者間で情報共有を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 工事の優先順位を上層部が必要な情報を得て判断できる仕組みの構築。リスク総点検で抽出された対策工事、および不適合管理においてリスク管理が必要と判断された対策・水平展開工事についてはリスク管理会議において工程を共有し進捗管理を行うとともに、工事が干渉する場合は工事の優先順位付けを行う。 要領・ガイドに対して例外的運用を行う際の判断者を明確化する。
比較的高い放射性物質を含む水の移送に際して特段の配慮を行わなかったこと。	<ul style="list-style-type: none"> 比較的高い放射性物質を含む水の堰内雨水移送にはホースを使用しない。 	<ul style="list-style-type: none"> 1000 t ノッチタンク～タービン建屋間のラインは、6月20日 PE 管取替完了。 雨水処理設備～1000 t ノッチタンク間のラインは、使用中止（移送の必要があればパワプロにて対応）。 耐圧ホース運用管理ガイドに反映・制定し、運用開始。 	<ul style="list-style-type: none"> 移送する汚染水の放射性物質の濃度によって使用する管の材料（耐圧ホース/PE 管）を明確化する。
ホースを点検せず、劣化に気づかず使用したこと。	<ul style="list-style-type: none"> （低濃度の汚染水移送配管についても）信頼性向上のため、PE 管への取り替えを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在施工中（H28 年度完成目途）。 	<ul style="list-style-type: none"> リスク総点検で抽出された対策工事、および不適合管理においてリスク管理が必要と判断された対策・水平展開工事についてはリスク管理会議において工程を共有し進捗管理を行うとともに、工事が干渉する場合は工事の優先順位付けを行う。 PE 管への取替工事について工程を作成し、担当者～GM 間で進捗状況について情報を共有する。
	<ul style="list-style-type: none"> PE 管に取り替えるまでの間は、ホースについて予防的な保全として、専門家の意見を踏まえた定期点検を実施し、点検結果に基づき対策を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 耐圧ホースメーカーによる健全性確認を実施予定（発注済）。 	<ul style="list-style-type: none"> 品証部門も一体となって不適合管理を実施するとともに、対策の実施状況をフォローする。
	<ul style="list-style-type: none"> 耐圧ホースについて保全計画を策定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 全 87 ラインについて策定完了。 	<ul style="list-style-type: none"> 副所長をリーダーとして 1F 所内の設備維持管理体制を確立する仕組みの中で、保全計画の策定状況を定期的に確認する。
	<ul style="list-style-type: none"> 耐圧ホースについて総点検を実施し、是正措置を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 是正が必要となった 139 ラインについて、是正措置実施中。 	<ul style="list-style-type: none"> 是正措置の工程を作成し、担当者～GM間で進捗状況について情報を共有する。
ホースを側溝内に設置したまま使用を継続したこと。	<ul style="list-style-type: none"> 排水路に直接流れ込む懸念があるホースについては、側溝からの移設、受けの設置などの対策を実施する。 また、やむを得ず対策が講じる前に使用する際には、当該箇所監視人を配置した上で移送を開始する。 	<ul style="list-style-type: none"> 耐圧ホース運用管理ガイドを制定し、運用開始。 	<ul style="list-style-type: none"> 対策内容を変更する等の例外的措置をとる際の判断者（上位職）を明確にする。
ホースを使用した移送中の巡視を行わなかったため、発見が遅れたこと。	<ul style="list-style-type: none"> 手順書を整備し、使用の都度、移送中にホース全線について巡視を実施する。また、久しぶりに使用するホースについては使用前に状況確認も実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 耐圧ホース運用管理ガイドを制定し、運用開始。 	<ul style="list-style-type: none"> 巡視方法を変更する等の例外的措置をとる際の判断者（上位職）を明確にする。